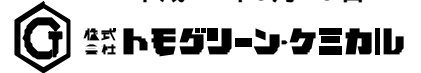


7月・8月の管理ポイント



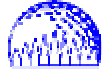
ホームページアドレス
http://www.tomo-green.com/

第76号

いよいよ本格的な夏がはじまります。

今年は、5月が記録的な少雨で、全体的に水不足のゴルフ場が増えております。

効率よく、水を使って乾燥害から芝生を守りましょう!!



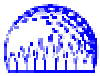
プライマーセレクト

猛暑に備えて均一な水分分布を...

梅雨時期の降雨を利用して、プライマーセレクトを散布しておきます。

マトリックスフローを形成させることによって、透水性を向上させ、梅雨明け直後の高温過湿による根の衰退を軽減させることができます。

使用量：1~2ml/m² 散布水量：200ml~1L/m² 散布回数：1ヶ月~1ヶ月半に1回



アクアダクト・アクアダクトSWDG

ドライスポットが発生してしまったら...

ドライスポットが発生してしまったら、治療剤としてアクアダクト、アクアダクトSWDGを発生個所及びその周辺に散布します。

アクアダクトSWDGは微粒剤タイプなので、スポット処理には最適で、カップ切りなどの後に処理すると芝の活着が良くなります(SWDGは我が国には無いタイプの細粒製剤で、散水分散型です)。

使用量

アクアダクト：1回目は2.5ml/m²で散布し、回復の状態を見ながら1週間後に1~2.5ml/m²で散布(散布水量0.5~1.0L/m²)

アクアダクトSWDG：10~20g/m²を必要に応じて1週間毎に散布

2剤とも非常に安全性が高いので、高温時の散布でも薬害の心配はありません。



コ・エンザ

梅雨時期のストレスのかかった芝生には...

7月中旬までは、降雨が多く、日照不足のため植物内の活性が低下し、芝生が軟弱になります。

コ・エンザ処理により、植物内の酵素反応を円滑にし、弱った芝生の回復に努めましょう。

使用量：ベント1~2g/m² 1L/m²散布 コウライ3~4g/m² 1L/m²散布



バイボン乳剤・ショットガン

害虫発生にあわせて...

7月、8月はシバオサゾウムシ、タマナヤガ、スジキリヨトウ、シバツトガの大切な防除シーズンです。

特にシバオサゾウムシは、越冬した幼虫が羽化して、発生数も大幅に増加します。

が類が弱令幼虫の時期にシバオサゾウムシとの同時防除をお勧めします。

害虫の活動が活発になる夕方~夜間に速効性のバイボン乳剤またはショットガンで効率的に防除しましょう。

2005.6.1バイボン乳剤は、タマナヤガ、シバオサゾウムシ成虫の登録を取得しました。是非お勧め下さい。

使用量：バイボン乳剤 2000倍 0.3L/m²、ショットガン 1000倍 0.3L/m²



グリーンメカ・マリンパワー・光合成細菌

芝の呼吸過多による糖消費と土壤菌数の回復に...

(光合成細菌研究会に入会下さい)

7、8月は高温による芝の呼吸量が増加し、糖含有量は1年で最も減少します。糖が少なくなると特に根に影響を与えるので、グリーンメカでしっかり補給していきましょう。

梅雨明け後(7月下旬)は、土壤が高温多湿で酸素不足になり、硫化水素など根に直接影響を与える有害ガスが発生しやすくなります。光合成細菌とマリンパワーを組み合わせることによって、嫌気性の土壤(排水の悪いどぶ臭い土壤)を改善し好気性の有用菌を定着させましょう(裏面参照)。

使用量：グリーンメカ 5~10ml/m² 1L/m²以上 マリンパワー 2~4ml/m² 1L/m²以上

土壌中の微生物は 色々な働きがあります

土壌中で植物の生育に利用される土壌微生物には、色々な働きがあります。
例えば、土壌改良資材として期待される光合成細菌は、バチルス菌とは全く異なる性質を持っています。
両菌の性質を良く理解し、上手く使い分けましょう。

	光合成細菌	バチルス菌
どういう環境下で働くか？	土壌が嫌氣的条件下で働く (酸素が少ない環境)	土壌が好氣的条件下で働く (酸素が多い環境)
何をエネルギー源としているか？	植物にとって有害な、 炭化水素 や 硫化水素 などの還元物質(悪臭物質)を 二酸化炭素 とともに取り込んでエネルギー源とする ↓ 植物の根やバチルス菌などの好気性菌が排出した 土壌中のCO₂ を 取り込む	呼吸による 酸素 、 有機物 をエネルギー源とする ↓ 土壌中にCO₂を排出する
何を分泌しているのか？	アミノ酸 、 高エネルギーリン酸化合物(ATP : アデノシン3リン酸etc) 、 核酸塩基(ウラシル、シトシンetc) などを分泌する ↓ 植物の根より吸収される	有機物 を取り込んで、 無機物を分泌する ↓ サッチ分解能力を有する
光の通さない土壌中で生存できるか？	生存可能で、光がある条件よりは低下するが、 悪臭物質 を除去する	生存可能